

在日アメリカ合衆国大使館

特命全権大使

ラーム・エマニュエル 閣下

抗議文

2024年5月14日に、貴国がネバダ州の核実験場において、臨界前核実験を実施したことに対し、武蔵野市は非核都市宣言自治体として、強い憤りを表明します。

これは2021年9月以来の臨界前核実験であり、その際も2022年4月に貴国へ抗議文を送付し、厳重に抗議しました。今回の貴国による行為は、国際社会における核軍縮、不拡散体制への流れに逆行し、核兵器廃絶を願う世界の人々の期待を裏切るものです。

武蔵野市は、世界中のすべての人々が安心して希望を持って暮らせる、戦争も核兵器もない平和な世界を実現するため、市民とともに平和に向けた取り組みを続けています。

私は、非核都市宣言都市である武蔵野市の市民を代表し、また平和首長会議の一員として、地域や国際社会の平和と安全を著しく損なう今回の実験に対し断固として抗議しますので、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2024年 5月 21日

武蔵野市長 小美濃安弘

